

伝 上野焼協同組合がバレンタイおちょこを販売
伝統産地活性のグッドアイデア

バレンタインのチョコにかけた特製猪口が上野焼陶芸館で1月26日から2月14日の期間限定で、214点販売されました。毎年即完売する大好評のこの企画に、上野焼協同組合12窯元がハート型やカラフルな猪口を出品。国の伝統的工芸品に指定されている博多織のきんちゃく袋セットも販売され、県外から買い求めるお客さんが来るほど、にぎわいを見せました。



↑受け取る相手を思いながら、慎重に品定めをする女性の姿が多く見られました。

↓実話に基づいた比良松さんの講演は、参加者が涙するほどの深い内容でした。



健 福智町青少年健全育成講演会
健康な体と心は正しい食生活から

青少年育成町民会議主催の講演会が2月18日に開催され、約50人が参加しました。九州大学大学院農学研究院の比良松道一さんが「食で育む家族の絆」を題材に、パニック障害の子どもを抱える家族が栄養バランスのとれた食事に変更したことで、症状が改善した感動の実話などを紹介。「食べ物は体だけじゃなく、心も育てる」と成長期の食事の大切さを訴えました。

腕 男性料理教室
腕によりをかけた男の料理

食進会主催の「男性料理教室」が2月16日から18日までの3日間にわたって、町内3か所の保健センターで開催されました。参加した25人の中には普段台所に立つことがない人が多く、始めは慣れない手つきでしたが、食進会の指導のもと「サケとごぼうのみそ煮込み」など4品目を見事に調理。試食後には「自宅でも作りたい」と感想を話すなど、上々の評判でした。



↑食進会の赤熊会長の説明を真剣に耳を傾けて聞き、料理習得に励む参加者。

↓相手の守りをかわして放ったシュートが、大人のキーパーの手をすりぬけました。



連 福智町子ども会フットサル大会
連携プレーが勝敗のカギを握る

町子育連主催のフットサル大会が2月13日に中央公民館と赤池体育センターの両会場で開催されました。5人1チームで小学校低学年・高学年と中学生の部に分かれて戦う大会に、24チーム144人が参加。屋外のサッカーと比べ、少人数でコートも狭いため、各チームが綿密な戦略を練り、細かなパスワークでゴールに迫るなど、見応えのあるプレーが続出しました。

↓福智町在住の6人が特別出演し、それぞれが個性を發揮。放送は2月7日と14日に行われました。



健 福智町でNHK公開収録
健康長寿の町から全国放送

NHKが送る情報番組「福祉ネットワーク」のコーナー「公開すこやか長寿」の収録が、1月29日に地域交流センターで行われました。収録は、順天堂大学名誉教授の武井正子さんによる講座形式で行われ、体の老化を防ぐエクササイズなどを紹介。ゲストにタレントの山田邦子さんが登場し、司会の塚原泰介アナウンサーとのやり取りが、会場を何度も笑いの渦に巻き込みました。収録後は、山田邦子さんががんと闘った自身の体験を明るく講演。客席の300人は勇気と希望を持ち帰ったようでした。

ク 弁城小 トヨタ原体験プログラム
クルマから学ぶワクワク体験授業

弁城小の4・5年生を対象として、トヨタ自動車が「トヨタ原体験プログラム」を2月2日・3日に実施しました。これはトヨタが「クルマ」とおとして、五感を刺激するさまざまな体験をしてもらおうと行っているもの。4年生は「パワーとコントロール」をテーマに実験、5年生は「クルマと環境・経済との関わり」を、クイズやゲームを楽しみながら考えました。



↑2日、トヨタ自動車（豊田市ほか）の職員が「空気エンジンカー」の仕組みを説明。

↓淡々とした語り口調で、バラエティー豊かな食の知識を参加者に伝えました。



食 平成22年度田川地域食育推進大会
食を通じた生活習慣改善を呼びかけ

食に対する正しい知識を習得することを目的とした「田川地域食育推進大会」が1月23日に地域交流センターで開催されました。会場にはTVやラジオのコメンテーターとして活躍する料理研究家の山際千津枝さんを招待。参加した約300人に「食べるってなあに」をテーマに自身の経験から「栄養バランスを考えて、規則正しい食生活の大切さ」を語りかけました。